



令和7年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和7年2月13日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3710 URL <https://www.jorudan.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 佐藤 俊和  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画室長(氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年9月期第1四半期の連結業績(令和6年10月1日~令和6年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年9月期第1四半期	646	△6.9	△16	—	85	—	65	—
6年9月期第1四半期	694	7.3	△99	—	△149	—	△126	—

(注) 包括利益 7年9月期第1四半期 83百万円(—%) 6年9月期第1四半期 △135百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年9月期第1四半期	12.78	—
6年9月期第1四半期	△24.85	—

(注) 6年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。7年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年9月期第1四半期	5,336	4,476	83.5
6年9月期	5,296	4,422	83.2

(参考) 自己資本 7年9月期第1四半期 4,457百万円 6年9月期 4,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年9月期	—	0.00	—	6.00	6.00
7年9月期	—	—	—	—	—
7年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 7年9月期の配当については、現時点では未定であります。

3. 令和7年9月期の連結業績予想(令和6年10月1日~令和7年9月30日)

不確定要素による業績への影響が大きく、精度の高い連結業績予想の算定・公表が困難であることから、現時点で未公表といたします。今後、連結業績予想の公表が可能となった時点で開示いたします。

※詳細は、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	7年9月期1Q	5,255,000株	6年9月期	5,255,000株
② 期末自己株式数	7年9月期1Q	154,284株	6年9月期	154,284株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	7年9月期1Q	5,100,716株	6年9月期1Q	5,100,720株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(令和6年10月1日～令和6年12月31日)におきましては、わが国の景気は一部に足踏みが残るものの緩やかに回復してまいりました。但し、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響等、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は増加が続いており、情報サービス業及びインターネット付随サービス業の売上高についても前年同四半期(令和5年10月1日～令和5年12月31日)と比べ増加となりました。また、1世帯当たりのインターネットを利用した支出についても増加となりました。このような中、生成AIを始めとするAI技術の高度化・実用化の進展等、情報通信に関する市場環境の変化は更に加速してまいりました。また、位置や移動に関するサービスの領域におきましても、「MaaS(Mobility as a Service)」(モビリティのサービス化)や「スマートシティ」等の流れが進展してまいりました。

当社グループにおきましても、この市場環境の変化に対応した事業展開のための基盤整備に取り組んでおり、「乗換案内」の各種インターネットサービスは多くの方々に広くご利用いただくに至っております。また、現状では訪日旅行者の増加等を含め人々の移動需要の回復は続いており、今後の更なる増加にも期待を持てる状況となっております。

このような環境の中で、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は646,395千円(前年同四半期比6.9%減)、営業損失は16,622千円(前年同四半期は99,904千円の損失)、経常利益は85,971千円(前年同四半期は149,964千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は65,168千円(前年同四半期は126,750千円の損失)という経営成績となりました。

売上高につきましては、乗換案内事業セグメント及びハードウェア事業セグメントの売上高が減少したこと等により、全体として前年同四半期と比べ減少いたしました。営業損益につきましては、乗換案内事業セグメント及びハードウェア事業セグメントにおける営業費用の減少等の影響が大きく、前年同四半期と比べ大きく改善いたしました。経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、為替差益の発生(為替差損の減少)の影響が大きく、前年同四半期と比べ大幅に改善し、黒字化に至りました。

セグメント別の経営成績の状況は、次のとおりです。

#### 乗換案内事業

乗換案内事業では、広告等の売上高が増加したものの、法人向けの事業やモバイル向け有料サービス等の売上高が減少したこと等により、セグメント全体の売上高は前年同四半期と比べやや減少いたしました。一方で、法人向けの事業における売上原価の減少等の影響が大きく、セグメント全体の利益は大きく増加いたしました。

それらの結果、売上高546,203千円(前年同四半期比2.9%減)、セグメント利益53,776千円(前年同四半期比339.1%増)となりました。

#### マルチメディア事業

マルチメディア事業では、売上高は前年同四半期と比べ減少いたしました。一方で、費用の削減を進めており、損益面では改善いたしました。

それらの結果、売上高808千円(前年同四半期比46.0%減)、セグメント損失2,110千円(前年同四半期は3,977千円の損失)となりました。

#### ソフトウェア事業

ソフトウェア事業では、前年同四半期において案件の受注・納品が順調に推移したことの反動等もあり、案件の受注・納品が順調に推移したこと等により、セグメント全体の売上高はやや減少いたしました。また、これに伴い、セグメント全体の利益も減少いたしました。

それらの結果、売上高98,460千円(前年同四半期比9.1%減)、セグメント利益3,075千円(前年同四半期比59.9%減)となりました。

#### ハードウェア事業

ハードウェア事業では、前連結会計年度末から株式会社エアーズが連結の範囲から外れた影響等により、セグメント全体の売上高は前年同四半期と比べ大きく減少いたしました。一方で、販売費及び一般管理費を中心に費用も大きく減少したため、セグメント全体の損益は大幅に改善いたしました。

それらの結果、売上高17,010千円（前年同四半期比62.6%減）、セグメント損失726千円（前年同四半期は48,818千円の損失）となりました。

#### その他

その他では、売上高・損益ともに前年同四半期と概ね同程度となりました。

それらの結果、売上高2,791千円（前年同四半期比13.3%増）、セグメント利益74千円（前年同四半期は722千円の損失）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書における営業損益をベースとしておりますが、各セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間の内部取引費用の控除前の数値であり、合計は連結営業損益と一致しておりません。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（令和6年9月末）と比較しますと、資産は40,026千円増の5,336,480千円、負債は13,366千円減の860,300千円、純資産は53,393千円増の4,476,179千円となりました。

#### 資産

資産は、流動資産につきましては、78,674千円増の3,855,379千円となりました。これは、前渡金が23,718千円減の52,370千円、その他が31,720千円減の167,410千円となった一方で、現金及び預金が79,918千円増の3,057,169千円、売掛金及び契約資産が56,051千円増の606,393千円となったこと等によるものです。前渡金の減少は、旅行関連の仕入に係る前渡金が減少したこと等によるものです。その他の減少は、前払費用の減少等によるものです。現金及び預金の増加は、四半期純利益の発生等によるものです。売掛金及び契約資産の増加は、当第1四半期連結会計期間末直前の売上高が前連結会計年度末直前と比べ増加したこと等によるものです。

固定資産につきましては、38,648千円減の1,481,100千円となりました。これは、有形固定資産が11,012千円減の802,380千円、無形固定資産が110千円減の97,761千円、投資その他の資産が27,525千円減の580,958千円となったことによるものです。有形固定資産は、工具、器具及び備品の償却等により、やや減少いたしました。無形固定資産は、取得に伴う増加の一方で償却等による減少も進み、全体としては大きな金額の変動はありませんでした。投資その他の資産は、敷金及び保証金の減少等により、減少いたしました。

#### 負債

負債は、流動負債につきましては、23,633千円減の826,009千円となりました。これは、未払費用が17,647千円増の63,762千円となった一方で、契約負債が33,052千円減の408,370千円、賞与引当金が23,360千円減の10,984千円となったこと等によるものです。未払費用の増加は、第1四半期連結会計期間末日は年末のため銀行休業日となること等によるものです。契約負債の減少は、旅行関連の売上に係る契約負債が減少したこと等によるものです。賞与引当金の減少は、賞与の支払等によるものです。

固定負債につきましては、10,266千円増の34,290千円となりました。

#### 純資産

純資産は、株主資本につきましては、34,563千円増の4,384,199千円となりました。これは、利益剰余金が34,563千円増の3,844,503千円となったことによるものです。利益剰余金の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益が剰余金の配当を上回ったことによるものです。

その他の包括利益累計額につきましては、18,864千円増の73,566千円となりました。これは、為替換算調整勘定の増加によるものです。

非支配株主持分につきましては、35千円減の18,414千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの現状におきましては、売上高に占める法人向けの割合の増加や外貨建て売上高及び資産の増加等により、今後の需要動向や為替変動等の不確定要素による業績への影響が拡大しております。また、収益向上・費用削減等のための大幅な見直しやグループ会社の体制再構築等を進めており、それらの施策の効果を高い精度で見通すことが難しい状況となっております。そのため、当連結会計年度の業績予想については現時点で未公表としております。今後、業績予想の公表が可能となった時点で開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,977,251	3,057,169
売掛金及び契約資産	550,342	606,393
商品及び製品	3,323	1,881
仕掛品	150	-
原材料及び貯蔵品	40	40
前渡金	76,088	52,370
その他	199,131	167,410
貸倒引当金	△29,623	△29,886
流動資産合計	3,776,704	3,855,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	269,466	266,989
機械装置及び運搬具（純額）	4,844	6,763
工具、器具及び備品（純額）	123,716	113,261
土地	415,365	415,365
有形固定資産合計	813,392	802,380
無形固定資産		
ソフトウェア	96,343	96,233
その他	1,528	1,528
無形固定資産合計	97,871	97,761
投資その他の資産		
投資有価証券	402,261	402,119
敷金及び保証金	155,236	139,709
長期貸付金	2,230	2,008
繰延税金資産	5,634	3,693
その他	47,357	37,662
貸倒引当金	△4,235	△4,235
投資その他の資産合計	608,484	580,958
固定資産合計	1,519,748	1,481,100
資産合計	5,296,453	5,336,480

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	250,164	248,937
1年内返済予定の長期借入金	10,012	-
未払費用	46,114	63,762
未払法人税等	15,456	22,635
未払消費税等	8,442	20,395
契約負債	441,423	408,370
賞与引当金	34,345	10,984
役員賞与引当金	2,715	375
受注損失引当金	259	616
その他	40,708	49,930
流動負債合計	849,642	826,009
固定負債		
その他	24,024	34,290
固定負債合計	24,024	34,290
負債合計	873,667	860,300
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	383,857	383,857
利益剰余金	3,809,939	3,844,503
自己株式	△121,537	△121,537
株主資本合計	4,349,635	4,384,199
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	54,701	73,566
その他の包括利益累計額合計	54,701	73,566
非支配株主持分	18,449	18,414
純資産合計	4,422,786	4,476,179
負債純資産合計	5,296,453	5,336,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)
売上高	694,564	646,395
売上原価	423,568	362,120
売上総利益	270,996	284,274
販売費及び一般管理費	370,900	300,897
営業損失(△)	△99,904	△16,622
営業外収益		
受取利息	133	27
貸倒引当金戻入額	336	-
受取事務手数料	81	163
為替差益	-	103,302
受取家賃	1,941	2,621
雑収入	986	821
営業外収益合計	3,479	106,936
営業外費用		
支払利息	433	19
持分法による投資損失	279	186
為替差損	51,896	-
賃貸収入原価	931	4,136
雑損失	0	0
営業外費用合計	53,540	4,342
経常利益又は経常損失(△)	△149,964	85,971
特別利益		
固定資産売却益	582	-
特別利益合計	582	-
特別損失		
減損損失	1,625	-
特別損失合計	1,625	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△151,007	85,971
法人税等合計	△24,385	21,000
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△126,622	64,970
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	127	△197
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△126,750	65,168

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△126,622	64,970
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△9,017	19,027
その他の包括利益合計	△9,017	19,027
四半期包括利益	△135,640	83,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△135,677	84,032
非支配株主に係る四半期包括利益	37	△35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 令和4年10月28日。以下「令和4年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、令和4年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 令和4年10月28日。以下「令和4年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会計期間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、令和4年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等に関する注記)

前第1四半期連結累計期間(自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内 事業	マルチ メディア事業	ソフト ウェア事業	ハード ウェア事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	562,383	1,496	82,737	45,483	692,101	2,463	—	694,564
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	25,569	—	25,569	—	△25,569	—
計	562,383	1,496	108,307	45,483	717,670	2,463	△25,569	694,564
セグメント利益又は損失(△)	12,245	△3,977	7,664	△48,818	△32,886	△722	△66,295	△99,904

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連機器リース業等を含んでおります。  
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ハードウェア事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失1,625千円を計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内 事業	マルチ メディア事業	ソフト ウェア事業	ハード ウェア事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	546,203	808	79,581	17,010	643,604	2,791	—	646,395
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	18,878	—	18,878	—	△18,878	—
計	546,203	808	98,460	17,010	662,482	2,791	△18,878	646,395
セグメント利益又は 損失(△)	53,776	△2,110	3,075	△726	54,014	74	△70,712	△16,622

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)
減価償却費	29,993千円	31,553千円